

2008年度事業計画の概要(中期経営計画含む) HP

当社を取り巻く状況

LNG(液化天然ガス)の価格は、一般的に原油と連動しています。その原油価格の動向は、2008年度夏場にかけて最高値を更新、その後ひと段落するも、今後も高水準が続くことが懸念されています。

また、近年発生したガス消費機器事故や導管ガス漏れ事故を受けた保安対策の強化や、2007年4月に実施されたガス小売自由化範囲の拡大に伴うエネルギー間競争の激化等、ガス事業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

新3カ年計画「百年紀 中期経営計画」の達成に努めます

2009年の創立100周年を控え、次の100年につなげるべく、2008年度からの新3カ年計画を策定。当社グループの経営基盤強化期間と位置づけ、グループ経営体制の充実を図り、継続的なグループ企業価値の向上に努めます。

経営方針

経営環境変化に的確に対応し、企業価値を向上させる

経営方針1

お客さま満足向上のために最適なエネルギー・サービスの提供と一層の安全、安心の実現をめざす

【取組内容】

家庭用市場への経営資源の重点配分による営業活動の充実
お客さま接点業務の充実等によるサービス品質の向上
供給、消費段階における保安対策の計画的な実施
営業・サービス・保安活動推進のための基盤整備・支援活動の充実

経営方針2

更なる経営効率化を推進し、収益性を高める

【取組内容】

コスト削減計画の達成
原料対策、要員削減計画、設備投資抑制を実施
グループ業務の選択・再構築(機能整理)と、グループを含めた要員再配置を実施

経営方針3

お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えする

【取組内容】

コンプライアンスの確実な実行と、情報開示による経営の透明性・財務報告の信頼性の確保
地域との共生、同業他社・国家プロジェクト・地域の産官学等との連携
経団連自主行動計画への参画や地域社会と共同した環境保全活動の実施

経営方針4

従業員の意欲、能力を向上させる人材活性化策を推進する

【取組内容】

人材育成・開発、モチベーション向上策等による人材・組織の活性化
ワークライフバランスの推進
人権啓発活動の推進

ガス需給計画(2008～2010年度)

(46.04655MJ/m³)

	実績		計画			3年間平均伸び率	
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度			
お客さま件数(年度末)	427千件	427千件	428千件	428千件		0.1%	
ガス販売量 (百万m ³)	家庭用	107	108	108	108	0.3%	
	業務用	商業用	60	58	52	53	4.1%
		工業用	264	250	276	276	1.5%
		その他	37	36	37	38	0.9%
	合計(卸供給等を除く)	470	453	475	476	0.4%	
	卸供給等	31	49	52	54	20.3%	
総合計	501	503	527	531	2.0%		

端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります 卸供給等は福山瓦斯(株)、瀬戸内パイプライン(株)向けガス供給分

家庭用

1世帯当たり人口の減少、ガス機器の高効率化等により、1件当たり販売量は減少傾向でしたが、給湯暖房システムやファンヒーター等の暖房器の拡販およびお得な家庭用料金メニューの普及により、ここ数年は若干の増加傾向に転じています。今後も新築市場、既設市場ともお客さまへの提案活動を推進し、家庭用販売量の維持に努めます。

家庭用重点機器販売、家庭用選択約款契約目標(2008年度)

給湯暖房システム(熱源機ベース)	4,700台
暖房器	4,700台
家庭用選択約款(お得な料金メニュー)	5,700契約

業務用

原料費の上昇により業務用市場はかつてないほどの厳しい環境下にあります。

しかし一方では、お客さまの地球環境問題への意識の高まりから、省エネ・省資源面で優れた燃料である天然ガスへの評価は高く、省エネ・省資源化が実現できるガスシステムの提案を継続します。

さらに、お客さまの多様化するニーズ(保安、設計診断、メンテナンス、ファイナンス他)に対しても積極的な対応を継続し、お客さまとの信頼関係の構築に努めます。

設備投資計画の概要(2008～2010年度)

P.16

設備投資計画

(単位:億円)

	実績		計画		
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	3年間合計
製造設備	5	24	1	1	26
供給設備	28	31	31	31	93
業務設備等	3	1	1	1	3
合計	36	56	33	33	122

端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります

2008年度の主な設備投資

・製造設備:スリヤ アキ追加取得、備後工場LNG気化器増設

環境特性・省エネルギー性に優れた天然ガスの市場拡大に対応し、安定供給体制を確保するため、製造設備および供給設備の増強・改修・入替など、製造・供給インフラの整備を計画的・効率的に行います。

また、2008年度には、2004年度に一部取得したLNG船「スリヤ アキ」の追加取得を行う予定です。

保安対策の強化

P.5

お客さまに安心してガスをご利用いただくために、ガス事故防止に向けた保安対策を継続します。

項目	具体的内容
(1)経年本支管対策の強化	ねずみ鑄鉄管:取替を2015年(日本ガス協会目標)までに実施 白ガス管:経年劣化が高いものから計画的に取替え } 対策費 約10億円/年
(2)経年埋設内管(お客さま資産)対策の計画的な実施	鉄筋系集合建物等について、2015年(日本ガス協会目標)までの改修をめざし改善交渉を推進
(3)給排気設備の改善、安全型機器への取替促進	経済産業省指針およびガス事業関連法令の改正に則り、法定点検・安全周知の強化に努めるとともに、給排気設備の改善および安全型機器への取替活動を推進

経営効率化目標の達成状況について

HP

経営効率化目標について

当社は、2006年度から2008年度までの3カ年中期経営計画の策定時に、経営効率化目標を設定しました。この経営効率化目標は、原油価格の高止まりが継続するなか、2006年度以降さらなるコスト削減のための方策およびお客さまに安心してガスをご利用いただくための保安・サービ

スの向上のための施策等を織り込んだものです。

2006年度、2007年度とも経営効率化目標を達成しました。今後も「お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼に応える会社」をめざし、全力で取り組んでいきます。

設備投資の抑制

目標:各年度の内部調達額以内

	2006年度	2007年度
設備投資実績	48億円	36億円
目標(内部調達額)	73億円以内	74億円以内

内部調達額 = 当期純利益 + 減価償却費 - 配当

諸経費の抑制

目標:102億円(2005年度実績)以下

	2006年度	2007年度
諸経費実績	100億円	97億円
目標	102億円以下	

保安・サービスの向上

項目	取り組み内容(2006年度～2007年度)
(1)保安施策の推進	経年ガス導管(本支管)の計画的な改修の継続実施 お客さま先の経年埋設内管(白ガス管)の取替・改善促進活動を推進 給排気設備の改善・安全型機器への取替活動を推進
(2)お客さまサービスの向上	機器リース制度、クレジット払いの開始(2006年度実施済) コールセンターの本格稼働により、当全エリアの受付窓口を一本化し、ワンストップ対応を実現 モバイル機器の導入による開閉栓・修理業務の作業効率化 新料金周知等のお客さま訪問活動の拡充と、お客さまニーズに応じた家庭用選択約款の普及促進 ^{*1}
(3)環境問題への取り組み	環境行動指針・環境目標に沿った活動の展開 環境負荷低減に資する天然ガスの普及拡大、ガスコージェネレーションシステム等の高効率機器や天然ガス自動車の普及促進

*1 目標:
家庭用選択約款の新規契約を3,700件/年以上、普及率を毎年度1%以上向上

	2005年度	2006年度	2007年度
増加件数(件)	-	7,524	5,774
家庭用選択約款普及率	7.1%	9.1%	10.8%